



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 シャルレ

上場取引所 東

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,388		805		790		1,355	
2020年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,295百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	85.62	
2020年3月期第2四半期		

(注) 2021年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,671	17,775	86.6
2020年3月期			

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 17,775百万円 2020年3月期 百万円

(注) 2021年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,770		1,255		1,235		1,840		116.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

なお、連結業績予想につきましては、本日(2020年11月12日)公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社田中金属製作所、除外 - 社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	16,086,250 株	2020年3月期	16,086,250 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	250,486 株	2020年3月期	250,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	15,835,840 株	2020年3月期2Q	15,835,954 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTの全株式を取得し子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めておりますが、みなし取得日を2020年7月31日にしており、かつ四半期連結決算日との差異が3か月以内であるため、貸借対照表のみを連結し、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

また、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

なお、連結業績予想につきましては、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、景気は大きく後退しました。コロナ禍における緊急事態宣言解除後は、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、一部回復の兆しが見られましたが、新規感染者が再び増加するなど、依然として国内の景気は厳しい状況となりました。海外においても感染症の動向や金融資本市場の変動等の懸念も引き続きあることから、先行き不透明かつ厳しい状況が続いております。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、段階的に経済活動が再開されたことにより、消費マインドは持ち直しの動きもみられますが、依然と厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、2019年4月より2022年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画を推進し、「シャルレビジネス事業の再生」と「新規事業開発による新たな柱の創造」の2つの基本戦略に積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、レディースインナー等販売事業については、商品の販売状況やビジネスメンバーの活動に大きく影響を受けており、最終年度である2022年3月期の中期経営指標への影響を現在精査しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は63億88百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少により、営業損失は8億5百万円、経常損失は7億90百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は13億55百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間より、株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTが連結子会社となったことに伴い、報告セグメントを「レディースインナー等販売事業」及び「ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業」の2つの区分に変更いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTの貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書には含めていないため、「ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業」についての記載を省略しております。

(レディースインナー等販売事業)

(単位：百万円)

品目別売上高	当第2四半期連結累計期間
衣料品類	4,711
化粧品類	984
健康食品類	489
その他	202
合計	6,388

(注) 上記の売上高には、消費税等は含まれておりません。

衣料品類では、数量限定商品として、シャルレ独自設計のカップ付きインナーである「シャルレBLトップ(タンクトップ・キャミソール)」やシーズンに合わせたカットソーやパンツ等を発売しました。化粧品類では、「エタリテ」ブランドより、「オーラマージュ プレミアム限定セット」を数量限定にて発売しました。健康食品類では、定番商品の「びわの葉入り まるごと発酵茶」や「輝く太陽のモリンガ青汁」が健康需要の高まりにより、売上高に貢献しました。

しかしながら、訪問販売・通信販売ともに新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、海外取引先からの製品入荷遅れによる発売延期、また不要不急の外出自粛による顧客の消費マインドの低下など、販売状況に大きく影響を受けました。

営業施策面におきましては、営業拠点を8支店体制から2拠点に統合し、総合的な営業力を発揮するための営業支援体制を開始しました。また、ビジネスメンバーにおける活動意欲の喚起や組織の活性化を目的に、ビジネスプログラムの見直しや新たなインセンティブ制度の導入を図り、推進してまいりました。また、ビジネ

メンバーには、ボーナス制度の上乗せやサンプルの無償提供など、緊急の活動支援対策も順次実施してまいりました。これらの結果、緊急事態宣言解除後はビジネスメンバーの活動は持ち直しの兆しが表れ、ビジネスメンバーの新規育成人数は増加傾向となりましたが、販売現場における3密回避の周知徹底やシャルレジャンプアップコンテスト2020（9月～11月）の中止などにより、ビジネスメンバーの活動低下による影響を大きく受けました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は206億71百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金114億44百万円、商品及び製品35億74百万円、建物及び構築物10億43百万円であります。

負債は28億96百万円となりました。主な内訳は、買掛金8億96百万円、未払金6億63百万円、売上割戻引当金1億91百万円であります。

純資産は177億75百万円となりました。主な内訳は、資本金36億円、資本剰余金48億97百万円、利益剰余金95億29百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、74億32百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億39百万円の支出となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失7億90百万円、減価償却費及びその他の償却費2億75百万円、たな卸資産の増加額1億91百万円、仕入債務の増加額2億48百万円、未払金の減少額2億60百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億82百万円の支出となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出1億62百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2億39百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億87百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額1億58百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結会計期間において株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTを子会社化したことに伴い、本日（2020年11月12日）付で、2021年3月期連結業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(2020年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	11,444
受取手形及び売掛金	225
商品及び製品	3,574
仕掛品	5
原材料及び貯蔵品	72
その他	353
貸倒引当金	△4
流動資産合計	15,671
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	1,043
土地	949
その他（純額）	493
有形固定資産合計	2,486
無形固定資産	
のれん	72
その他	849
無形固定資産合計	922
投資その他の資産	
投資有価証券	447
退職給付に係る資産	734
繰延税金資産	15
その他	398
貸倒引当金	△4
投資その他の資産合計	1,591
固定資産合計	5,000
資産合計	20,671

(単位:百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(2020年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	896
1年内返済予定の長期借入金	7
未払金	663
未払法人税等	133
賞与引当金	114
その他	335
流動負債合計	2,150
固定負債	
長期借入金	36
役員退職慰労引当金	37
売上割戻引当金	191
退職給付に係る負債	175
長期未払金	144
繰延税金負債	52
その他	108
固定負債合計	745
負債合計	2,896
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,600
資本剰余金	4,897
利益剰余金	9,529
自己株式	△131
株主資本合計	17,895
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	7
退職給付に係る調整累計額	△127
その他の包括利益累計額合計	△119
純資産合計	17,775
負債純資産合計	20,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,388
売上原価	3,732
売上総利益	2,655
販売費及び一般管理費	3,461
営業損失(△)	△805
営業外収益	
受取利息	5
雑収入	11
営業外収益合計	16
営業外費用	
支払利息	0
雑損失	0
営業外費用合計	1
経常損失(△)	△790
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△790
法人税、住民税及び事業税	5
法人税等調整額	560
法人税等合計	565
四半期純損失(△)	△1,355
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,355



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,355
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	19
退職給付に係る調整額	40
その他の包括利益合計	60
四半期包括利益	△1,295
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,295
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△790
減価償却費及びその他の償却費	275
受取利息及び受取配当金	△5
固定資産除却損	0
売上債権の増減額 (△は増加)	35
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△191
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	31
仕入債務の増減額 (△は減少)	248
未払金の増減額 (△は減少)	△260
前受金の増減額 (△は減少)	51
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△108
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21
その他	△178
小計	△912
利息及び配当金の受取額	5
法人税等の支払額	△131
その他	△0
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,039</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の増減額 (△は増加)	△11
有形固定資産の取得による支出	△20
無形固定資産の取得による支出	△162
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△239
その他	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△158
リース債務の返済による支出	△28
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,609
現金及び現金同等物の期首残高	9,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,432

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTの全株式を取得し子会社化したことに伴い、両社を連結の範囲に含めております。なお、株式会社田中金属製作所は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	レディース インナー等 販売事業	ウルトラファ インバブル技 術製品等製造 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,388	—	6,388	6,388	—	6,388
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,388	—	6,388	6,388	—	6,388
セグメント損失(△)	△767	—	△767	△767	△38	△805

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用38百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来より「レディースインナー等販売事業」の単一セグメントでありましたが、当第2四半期連結会計期間より、株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTを連結子会社化したことに伴い、両社を「ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業」の報告セグメントとして追加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間においては、みなし取得日を2020年7月31日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3か月以内であるため、貸借対照表のみを連結しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2020年8月17日に株式会社田中金属製作所及び株式会社WATER CONNECTの全株式を取得し子会社化いたしました。

これにより、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業セグメントにおいて、のれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの発生額は72百万円であります。